



2008年11月

全国の男女1233名に聞いた

『宗教団体の社会貢献活動に関する調査』

- 宗教団体が行う社会貢献活動を知っていた人は34.8%
- 宗教団体が行う社会貢献活動で期待するのは平和の増進に関する活動、34.4%

財団法人庭野平和財団は、宗教団体への社会的貢献活動に対する認知と評価について、世論調査を実施いたしました。

この程、調査結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

- 宗教団体の行ってきた学校教育活動、病院運営などの社会貢献活動の認知
 - ・知っている人は34.8%
- 知っている宗教団体の社会貢献活動は？
 - ・小中高等学校、大学などの教育機関の経営、40.0%
 - ・保育所、幼稚園などの児童の福祉に関する事業、33.4%
- 宗教団体の行う社会貢献活動の評価は？
 - ・立派な活動でもっと活発に、19.1%
 - ・やめた方がいい、5.4%
- 期待する宗教団体の行う社会貢献活動は？
 - ・平和の増進に関する活動、34.4%
 - ・医療や福祉に関する活動、28.1%
 - ・期待する活動はない、33.3%
- 宗教団体の行う平和活動の評価は？
 - ・貢献している、34.4%
- 参加してもよい宗教団体の実施する社会貢献活動は？
 - ・災害時のボランティア活動、25.6%
- 宗教団体の行う海外援助活動を知っていますか？
 - ・知っている、37.4%
- 宗教団体の行う海外援助活動の評価は？
 - ・現状を維持しながら継続的に行うべき、35.6%

《 調査の概要 》

調査対象 全国の20歳以上の男女4,000人
 抽出法 層化3段無作為抽出法
 調査方法 調査員による個別面接調査
 調査時期 2008年10月10～19日
 有効回答数 1,233人(30.8%)
 調査機関 社団法人中央調査社

属性

<性別> (下段は%)

総数	男	女
1233	575	658
1233	46.6	53.4

<年代別> (下段は%)

総数	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
1233	125	225	189	209	243	242
1233	10.1	18.2	15.3	17	19.7	19.6

<職業別> (下段は%)

総数	農林漁業	商工・サービス業	事務職	労務職	自由業管理職	無職の主婦	学生	その他の無職
1233	24	130	224	246	26	325	16	242
1233	1.9	10.5	18.2	20	2.1	26.4	1.3	19.6

<学歴別> (下段は%)

総数	(旧)小・高小(新)中学	(旧)中学(新)高校	(旧)高専大(新)大学	不明
1233	184	663	385	1
1233	14.9	53.8	31.2	0.1

《 調査結果の概要 》

<認知>

宗教団体の行ってきた学校教育活動、病院運営などの社会貢献活動の認知は34.8パーセントで、必ずしも高いとはいえない。しかしながら、質問文に社会貢献活動の具体的な事例挙げて質問すると、認知は高くなる傾向が示された。日頃、宗教団体が運営する多様な施設や活動に関わることがあっても、人々はとくに「宗教団体」を意識することはないようだ。

それにしても全体的に回答率を見た場合、そして宗教団体の社会貢献活動の実態を考慮すると、認知度はきわめて低いといわざるをえない。

<評価>

宗教団体の行う社会貢献活動に対する評価は総体的に高く、批判的な評価はわずかである。

その一方で、回答者の一部に、宗教団体の社会貢献活動に対する無関心層が存在する。

<期待>

宗教団体の行う社会貢献活動に対する期待も少なくない。とくに、平和活動を始め、環境問題や高齢化社会への対応など、現在社会問題化している事柄への活動に関しては期待感が存在する。

その一方で、「評価」と同様に、ある程度まとまった量の無関心層が存在していることがわかる。

宗教団体が長年にわたって多様で多くの社会貢献活動を行ってきた実績が存在するのであり、どう評価するかは別としても、最低限こうした事実を認知しておくことが、宗教団体およびその関連団体の公益性が問われるなかで必要ではないだろうか。

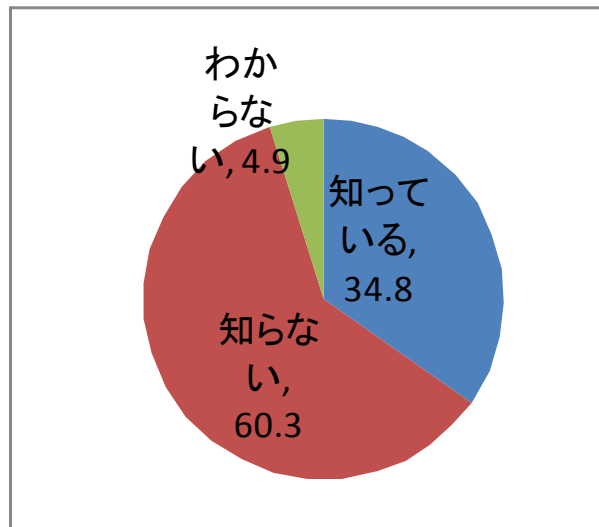
宗教団体の行ってきた学校教育活動、病院運営などの社会貢献活動の認知は？

問1 あなたは、宗教団体が、女性や子どものための学校教育活動、弱者のための病院運営などの社会貢献活動を長い間行ってきたことを知っていますか。

(%)

1 知っている	34.8
2 知らない	60.3
3 わからない	4.9

図1 社会貢献活動の認知



本調査では、まず、宗教団体の行う社会貢献活動の認知について尋ねたが、社会貢献活動を具体的にイメージしやすいように、最も一般的と考えられる学校教育活動、病院活動を例に挙げた。これらの活動は、歴史的にも実体的にも活発に行われてきたものである。

調査結果は、「知っている」が34.8パーセントと、全体の三分の一ほどであった。また「知らない」は、約6割であった。

日本の教育において、宗教団体、とくにキリスト教は女性や子どもの教育に大きな役割を果たしてきた。また、宗教団体の経営する医療施設が多く存在することを考慮すると、「知っている」の34.8パーセントは、あまりに低い数値である。

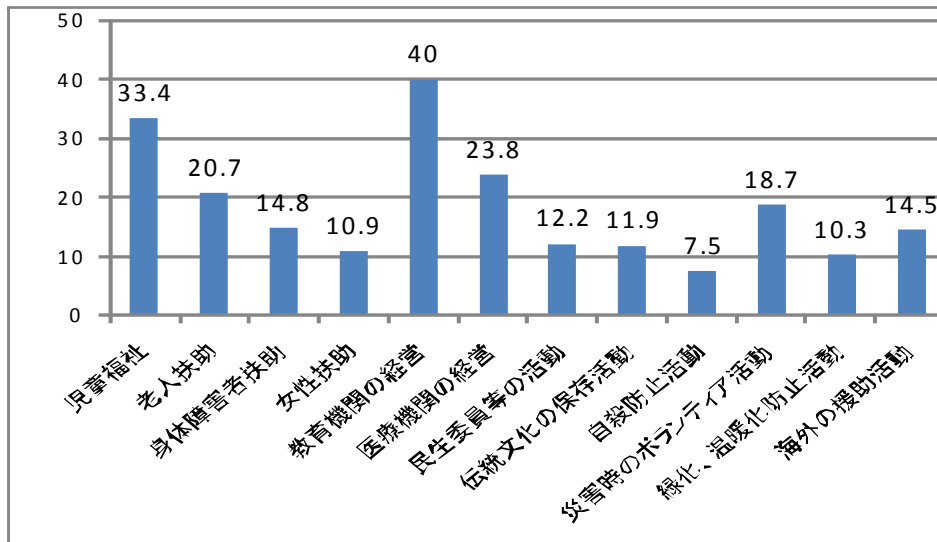
宗教団体が運営する学校や医療施設は、とくに宗教団体との関わりで意識されていないのかもしれない。

知っている宗教団体の社会貢献活動は？

問2 あなたは、ここにあげるような、宗教団体の行っている社会貢献活動の中で、知っているものがありますか。この中からあてはまるものをいくつでもあげてください。（複数回答）

	(%)
1 児童の福祉の増進に関する事業（保育所、幼稚園、児童擁護施設など）	33.4
2 老人の扶助を目的とした事業（養護老人ホーム、特別養護老人ホームなど）	20.7
3 身体障害者更生施設などの経営、身体障害者の扶助を目的とした事業	14.8
4 婦人保護施設の経営、困難な状況に置かれた女性の扶助を目的とした事業	10.9
5 小学校、中学校、高等学校、大学、専門学校などの教育機関の経営	40.0
6 診療所、病院など医療機関の経営	23.8
7 民生委員、教誨師、篤志面接員、保護司などの活動	12.2
8 伝統文化、地域文化などの保存活動	11.9
9 自殺防止に関わる活動	7.5
10 災害時のボランティア活動	18.7
11 緑化、温暖化の防止など環境に関する活動	10.3
12 海外の教育、医療等の援助活動	14.5
13 その他	0.2
14 どれも知らない	39.3
15 わからない	5.0

図2 知っている宗教団体の社会貢献活動



最も知っている宗教団体の社会貢献活動は「小学校、中学校、高等学校、大学、専門学校などの教育機関の経営」で40.0パーセントだった。児童の福祉の増進に関する事業（保育所、幼稚園、児童擁護施設など）も33.4パーセントと高く、教育との関わりにおける認知は、それなりにあるものと考えられる。

その他では「診療所、病院など医療機関の経営」（23.8%）、「老人の扶助を目的とした事業（養護老人ホーム、特別養護老人ホームなど）」（20.7%）、「災害時のボランティア活動」（18.7%）で、2割ほどにとどまった。

問1の「知っている」（34.8%）よりも、教育機関の経営の肯定回答が高かったのは、質問文がより具体的で、イメージしやすかったためではないかと考えられる。

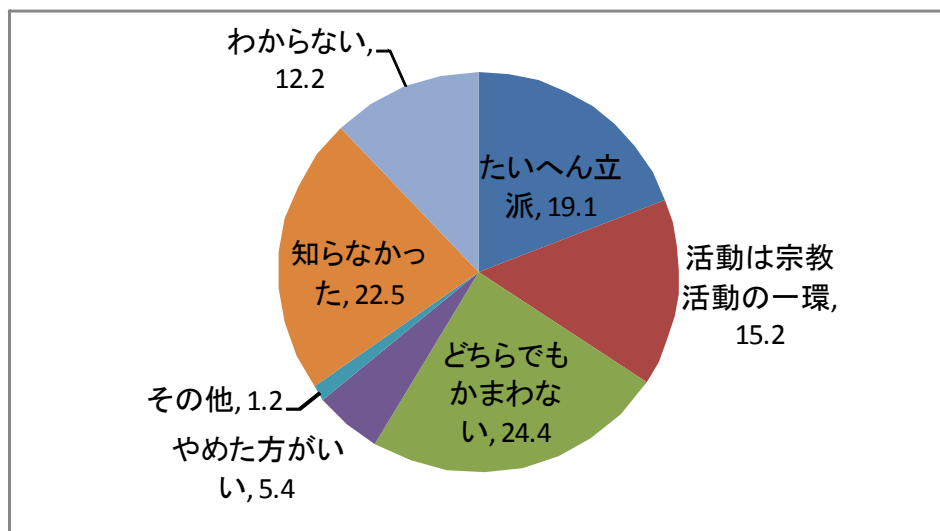
こうした点を考慮すると、宗教団体の社会的貢献に関する認知は、4割を越えると考えてもいいと思われる。

宗教団体の行う社会貢献活動の評価は？

問3 あなたは、宗教団体が、このような社会貢献活動を行ってきたことに対してどのように考えますか。あなたのお考えに最も近いものを1つだけ選んでください。(%)

1 たいへん立派な活動で、もっと活発に行ってほしい	19.1
2 宗教団体がこうした活動を行うのは、宗教活動の一環として当然である	15.2
3 宗教団体が勝手にやっていることで、やってもやらなくてもどちらでもかまわない	24.4
4 宗教団体がよい評判を得ようとしてやっていることで、やめた方がいい	5.4
5 その他	1.2
6 宗教団体がこのような社会活動を行っていたことを知らなかった	22.5
7 わからない	12.2

図3
行う社会
評価



宗教団体の
貢献活動の

最も多い回答は「宗教団体が勝手にやっていることで、やってもやらなくてもどちらでもかまわない」で24.4パーセントだった。ついで「宗教団体がこのような社会活動を行っていたことを知らなかった」が22.5パーセントだった。

評価を肯定的な評価と否定的な評価に分けると、「たいへん立派な活動で、もっと活発に行ってほしい」(19.1%)、「宗教団体がこうした活動を行うのは、宗教活動の一環として当然である」(15.2%)という肯定的な評価が多く、宗教団体の行う社会貢献活動を宣伝と受け止める回答は、わずかに5.4パーセントにとどまった。

期待する宗教団体の行う社会貢献活動は？

問4 あなたは、宗教団体が行う活動として、どのような活動を期待しますか。この中からあてはまるものをいくつでも選んでください。（複数回答）

	(%)
1 教育に関する活動	18.0
2 医療や福祉に関する活動	28.1
3 平和の増進に関する活動	34.4
4 海外の開発、教育、医療などの援助活動	12.7
5 環境問題への提言や取組み	20.2
6 伝統文化の保存運動	13.8
7 政治への積極的な参加や発言	4.3
8 その他	0.2
9 期待する活動はない	33.3
10 わからない	11.3

図4 期待する宗教団体の行う社会貢献活動

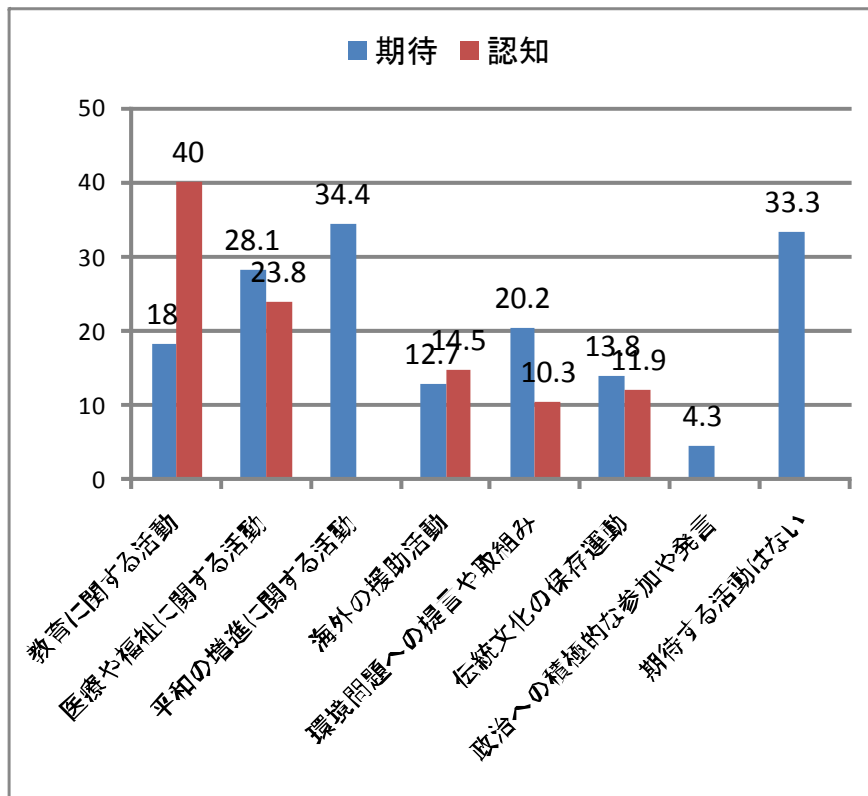


図4の左側の数値が期待する活動、右側が問2の知っている活動の調査結果である。

最も期待する宗教団体が行う社会貢献活動は「平和の増進に関する活動」で34.4パーセントであった。問2では、平和活動に関する項目は立てなかったが、宗教団体が行う平和活動には高い評価と認知、期待があるものと考えられる。

その他の項目で、認知よりも期待が高くなっている項目は、医療福祉や環境問題など、現在社会問題化しているもので、宗教団体のより積極的な参加が求められていると考えていいだろう。

教育に関する活動が認知と比較して大幅に減少しているが、これはすでに教育機関に関しては、新たな展開を望む必要が生じていない点が背景にあると考えられる。

宗教団体の行う平和活動の評価は？

問5 多くの宗教団体は、比叡山宗教サミットや世界宗教者会議（WCRP）などを定期的を開催して、世界平和について意見交換をしています。あなたは、このことについてどう思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つだけ選んでください。

	(%)
1 宗教団体の行う平和活動は、直接的に、世界平和に貢献している	7.6
2 宗教団体の行う平和活動は、間接的にではあるが、世界平和に貢献している	26.8
3 宗教団体の行う平和活動は、世界平和にはほとんど影響がない	15.4
4 宗教団体の行う平和活動は、世界平和にかえって混乱を生じさせている	8.5
5 その他	0.6
6 わからない	41.0

宗教団体の行う平和活

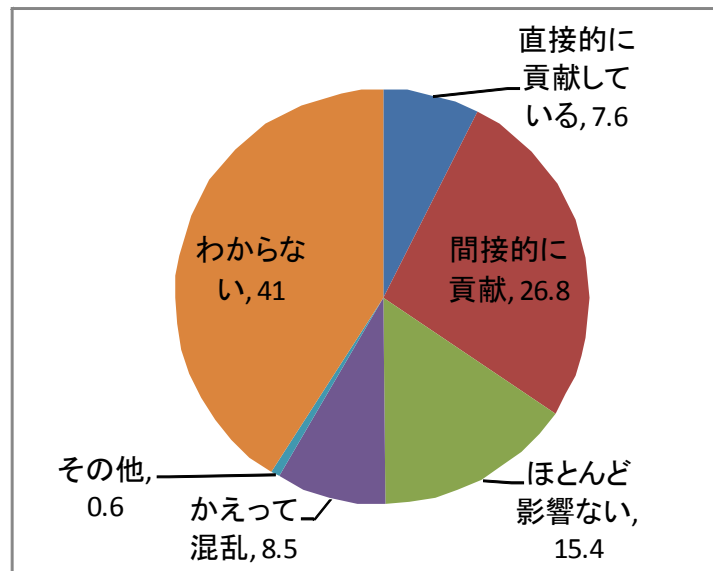


図5 宗教団体の行う平和活動の評価

宗教団体の行う平和活動が世界平和に貢献しているとする回答は34.4パーセントであった（「直接的に、世界平和に貢献している」と「間接的にではあるが、世界平和に貢献している」の合計）。また「世界平和にかえって混乱を生じさせている」は8.5パーセントにとどまり、宗教団体の平和活動はいちおう評価されていると考えられる。

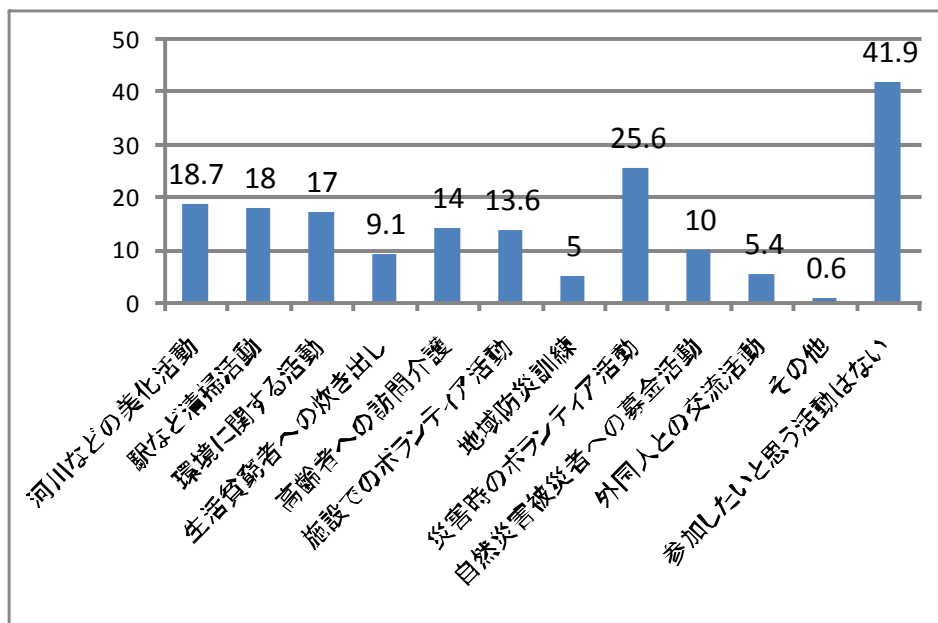
しかしながら一方で「わからない」と回答を留保する回答者が41パーセント、「世界平和にはほとんど影響がない」とする人も15.4パーセントいる。

参加してもよい宗教団体の実施する社会貢献活動は？

問6 宗教団体や宗教団体の関連団体、もしくは宗教団体の連合体が実施する社会貢献活動で、信者になることを前提としないならば、参加してもよいと思う社会貢献活動はどのようなものでしょうか。この中からあてはまるものをいくつでも選んでください。（複数回答）

	(%)
1 河川や海岸などの美化活動	18.7
2 駅や道路など地域の清掃活動	18.0
3 植林など緑化、温暖化防止などの環境に関する活動	17.0
4 生活貧窮者への食事の炊き出し	9.1
5 一人住まいの高齢者への訪問介護	14.0
6 病院や老人の扶助を目的とした施設でのボランティア活動	13.6
7 地元の仏教寺院などが主催する地域防災訓練	5.0
8 災害時のボランティア活動	25.6
9 国内外の自然災害被災者への支援物資の募集や義捐金の募金活動	10.0
10 地元に居住する外国人との交流活動	5.4
11 その他	0.6
12 参加したいと思う活動はない	41.9
13 わからない	9.6

図6 参加してもよい宗教団体の実施する社会貢献活動



この質問で最も多い回答だったのは「参加したいと思う活動はない」で41.9パーセントであった。他の世論調査においても3割から4割が社会的活動への参加意識を持っていないことが分かっており、宗教団体に対する強い拒否反応とは考えられない。

実際の活動で最も多かったのは「災害時のボランティア活動」で25.6パーセントだった。しかしながら、宗教団体の行う社会貢献運動への期待（問4）と比較すると、「河川や海岸などの美化活動」（18.7%）、「駅や道路など地域の清掃活動」（18.0%）、「植林など緑化、温暖化防止などの環境に関する活動」（17.0%）といった数値は、必ずしも低いわけではない。宗教団体が行う活動への徹底的な拒否ではなく、回答者の一部に参加への意志を読みとることができるのではないだろうか。

宗教団体の行う海外援助活動を知っていますか？

問7 多くの宗教団体や関連団体は、アフリカやアジアをはじめとした地域に対して、医療、教育、生活改善など多様な海外援助活動を行っていますが、あなたは、こうした活動が行われていることを知っていますか。

	(%)
1 知っている	37.4
2 知らない →SQへ	56.2
3 わからない	6.4

【「2 知らない」と答えた人に】

SQ 宗教団体や関連団体が行う、海外援助活動を知らなかったのはどのような理由からでしょうか。あなたのお考えに最も近いものを1つだけ選んでください。(括弧内は全体に占める割合)(%)

1 関心はあったが、たまたま知る機会がなかった	9.1	(5.1)
2 こうしたことにあまり関心がない	46.6	(26.2)
3 積極的に知りたいと思っていない	34.2	(19.2)
4 その他	0.1	(0.1)
5 わからない	10.0	(5.6)

図7 宗教団体の行う海外援助活動

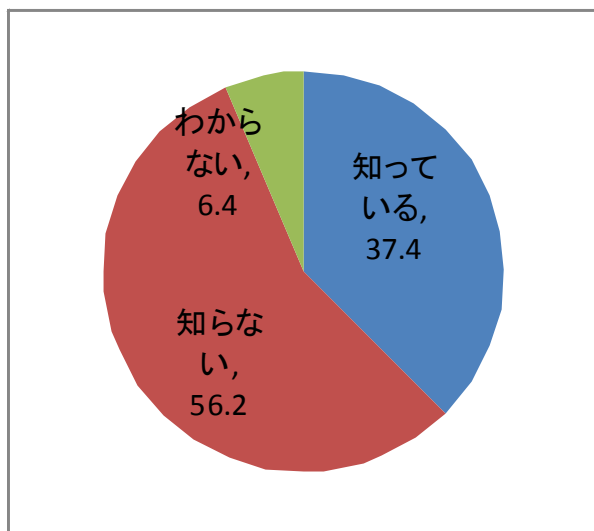
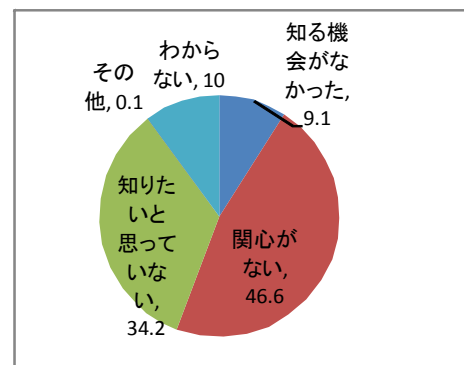


図8 知らない理由

【「2 知らない」と答えた人に】



宗教団体やその関連団体が行う海外援助活動を「知っている」と回答した人は37.4パーセントであった。問2の選択肢に「海外の教育、医療等の援助活動」があり、「知っている」とする回答が14.5パーセントであったことを考慮すると、ここでの37.4パーセントは倍以上の数値となる。

質問文に「関連団体」が含まれたこと、具体的な活動をイメージしやすい事例が挙げられているために、高い回答率になったと考えられ、ここでの数値がより実態に近いものと思われる。

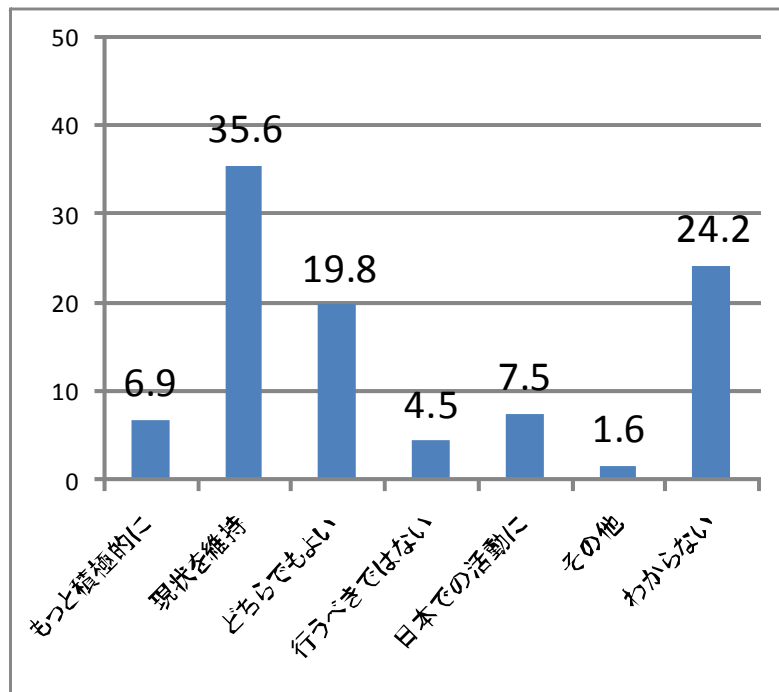
また、問7で「知らない」と回答した人に理由を尋ねると、「こうしたことにあまり関心がない」(46.6%)、「積極的に知りたいと思っていない」(34.2%)など、たんに宗教団体もしくは関連団体が行っているかどうかとは無関係に、こうした活動に無関心な層が存在するものと考えられる。

宗教団体の行う海外援助活動の評価は？

問8 日本の宗教団体や関連団体が行っている海外での援助活動についてどのように考えますか。あなたのお考えに最も近いものを1つだけ選んでください。

	(%)
1 今以上にもっと積極的に行うべきである	6.9
2 現状を維持しながら継続的に行うべきである	35.6
3 活動を行っても行わなくてもどちらでもよい	19.8
4 日本の宗教団体や関連団体が行うべきではない	4.5
5 海外ではなく日本での活動に切り替えるべきである	7.5
6 その他	1.6
7 わからない	24.2

図9 宗教団体の行う海外援助活動の評価



宗教団体および関連団体の行う海外援助活動の評価については、「今以上にもっと積極的に行うべきである」が6.9パーセント、「現状を維持しながら継続的に行うべきである」が最も多く35.6パーセントと、積極的な評価が多かった（合計すると42.5%）。

他方で「活動を行っても行わなくてもどちらでもよい」（19.8%）と「日本の宗教団体や関連団体が行うべきではない」（4.5%）は合計で24.3パーセントにとどまった。